

保護者からの施設評価の集計結果

公表：平成31年1月22日

施設名 ひなどり学園

保護者数 55

回収数 48

割合 87.3 %

評価分野	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	意見など	意見を踏まえた対応
環境・体制	1 児童の活動等のスペースが充分確保されているか。	41	4	1	2	2階のクラス別活動の部屋がもう少し広いと思う。園庭が狭いように感じる。	近い将来の建て替えや施設整備の実現に向け、経済面の安定改善に引き続き務める。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか。	41	4		3	職員がどのような専門知識や意図をもって保育に当たっているか知りたい。STやOT職員を配置して欲しい。職員研修や勉強会などは実施しているのか？	保育の意図や職員の資格等について入園冊子を配布し事前説明するが、適宜細やかに対応する。STやOT職員を配置しない意図や理由など保護者会等で説明する。職員研修実績は毎年あるため保護者に向けても周知する。
	3 生活空間は、児童に分かりやすく構造化され、また障害特性に応じ、園の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	37	7	1	3		
	4 生活環境は清潔で、心地良く過ごせるように保たれ、また、子どもの活動に合った空間となっているか。	38	6	2	2	建物が老朽化している。同敷地内の別施設との境界がなく、プライバシーの観点から気になる。	将来の建て替えや施設整備に向けて、経済面の改善に引き続き務める。同敷地内の入所施設と連携重視の上で境界を設けて居ない点を保護者会等で説明し理解を促す。
適切な保育的支援の提供	5 児童と保護者のニーズや課題やニーズが客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	45	2		1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援・家族支援・地域支援で示す支援内容から児童の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	40	1		7	国のガイドラインが分からない。	施設評価の依頼に当たって、国のガイドラインをインターネットで閲覧できること等をまえて伝える。
	7 児童発達支援計画に沿った保育が行われているか。	44	2		2		
	8 活動プログラムが固定しないよう工夫されているか。	46	2			保護者参加の大きな行事だと、児童によっては楽しめないこともあり、行事に参加したくない。	児童の特性に充分配慮した行事の在り方や児童の参加の仕方、園側の配慮等を今後も検討する。
	9 保育所や幼稚園等との交流や、障害のない児童と活動する機会があるか。	12	6	6	24	交流を希望しない。	保育所や幼稚園等との交流は定期的には実施しないが、他の児童発達支援センターとの合同行事はある。
保護者へ向けた取組み	10 運営規程や利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	46		1	1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	42	1	1	4	国のガイドラインが分からない。	施設評価の依頼に当たって、国のガイドラインをインターネットで閲覧できること等をまえて伝える。
	12 保護者に対して家族プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。	40	4	3	1	家族プログラムとして園から提示されるものがなく分からない。	家族プログラムを当園は指導ではなく、支援の範疇に位置付け、一律では実施しないが、希望があれば対応している旨を保護者会等で説明する。
	13 子どもの様子を保護者と日頃から伝え合い、子どもの発達状況や課題の共通理解ができていくか。	47	1			園外の専門家から意見を聞ける場を作りたい。	園外講師を招いての勉強会等、機会や要望に応じて検討したい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	46	2			忙しいので相談をするのに、気が引ける。個別懇談の回数を増やしたい。	個別懇談は希望に応じ、回数制限なく随時実施しているが、園側から積極的な働き掛けにも心掛けたい。
	15 保護者会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	47			1		

保護者へ向けた取組み	16	児童や保護者からの相談や申し入れに対応する体制が整備され、児童や保護者に周知し、相談や申し入れが合った場合に迅速かつ適切に応じている。	44	2	1	1		
	17	児童や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	45	3			連絡帳は有難いが、欲しい情報がないことがある。 園の緊急連絡の手段が電話だけなので不便に感じる。 通園バスに直接、連絡できないので不便である。	家庭とのコミュニケーションに努め、保護者の求める情報や報告の提供に努める。 緊急時の連絡手段及び通園バスとの直接連絡について検討課題とする。
	18	定期的に機関紙やホームページなどで、活動内容や行事予定、連絡体制、業務に関する自己評価の結果などが保護者に向けて発信されているか。	38	6		4		
	19	個人情報の取扱いに十分な注意がなされているか。	40	2		6		
非常時対応	20	緊急時対応や防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施している。	43	2		3		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練を行っている。	46			2	地震対策（家具の転倒防止等の物理的な面）の有無が分からず、不安である。	地震対策は段階的に進めているが、一層の充実を順次計っていく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか。	45	3				
	23	施設の支援に満足しているか。	46	2				

その他の意見や感想など

- ・ “障害” というより個性と言った感じで、子どもに対応してくれるのが良い。
- ・ 職員の働きやすい環境提供が子どもたちの保育にも影響すると感じる。
- ・ 子ども心のゆとりを生むことで様々な成長が見られているように感じる。
- ・ 保護者に対してきめ細かく、その場で丁寧に対応してくれるのでとても安心している。
- ・ 子どもが “伸びた” と感じられ感謝している。
- ・ 子どもは、毎日「明日はひな祭りあるの？」と聞いて、楽しみにしている。
- ・ 子ども一人ひとりのことをしっかりと見てくれていて満足しています。